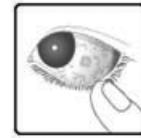


ドライアイ (どらいあい)

主な症状

乾燥感・充血・疲れ・異物感や痛みをともないます。眼が開きにくい等の症状もありますが、なんと言っても名前のとおりの乾燥感をもちます。



異物感



充血

どんな病気？

ドライアイは、涙が普通より少ない、乾きやすいなどの理由で、黒目の表面に細かい傷がつく病気です。原因は、眼の病気や、薬物等の影響が考えられますが、健康でも年齢とともに涙は少なくなります。また、夜間やストレスが高い時なども少なくなります。涙は十分にあって、映画やパソコンの画面を見ている時のようにまばたきの回数が減ったり、エアコンなどで部屋が乾燥しているとドライアイになりやすくなります。コンタクトレンズやアレルギー性結膜炎はドライアイと深く関係しているといわれています。

対処Q&A

Q 検査のみ所要時間は？

A 約30分です。

Q 涙が少なくなるとどんな悪いことが起こるのですか？

A 涙は、眼の表面を均一におおうことで、血管のない角膜(かくまく=くろめ)に酸素を行き渡らせ、細菌の侵入を防いでいます。ですから、涙は常に出ています(ぼろぼろ流れてこないのは、涙の生産と排出の量が釣り合っているから)が、この釣り合いのバランスがくずれると、角膜上で部分的に乾いた部分ができ、そこが傷ついて「痛い」「まぶしい」などドライアイ特有の症状が現れます。さらに、その傷に細菌が感染すると角膜炎などへと重い病気になっていきます。単なる乾き眼と軽視せず適切な治療を受けましょう。

Q ドライアイの原因は何ですか？

A 一般的に考えられるものを挙げます。1. 涙の生産・分泌量が少ない 2. 涙の成分に異常がある 3. まばたきが浅い 4. 長時間のパソコンや読書でまばたきの回数が減る 5. エアコンの風やコンタクトレンズで涙が蒸発する 6. 睡眠不足やストレス 7. 鼻炎治療薬や風邪薬の副作用 8. 老化現象にともなうもの ※4、5、6などはご自分で改善できるのではないのでしょうか？

コンタクトレンズやメガネ装用者へのアドバイス

コンタクトレンズは、角膜(かくまく=くろめ)にくっついているように見えますが、実は涙に包まれた状態で浮かんでいます。涙が少なくなると、コンタクトレンズが直接角膜に当たってしまうこととなりますので、原則的には使用は控えるべきでしょう。どうしてもコンタクトレンズを使用しなければならない場合は、その使用目的や、個人の症状の違いによつての判断が必要となりますので、眼科にてご相談下さい。最近では乾燥を軽減するタイプの新素材シリコンハイドロゲル使い捨てソフトレンズも発売されています。



月額1,890円(両眼)からの定額制コンタクトレンズ『メルスプラン』!

メルスプランは、月額1,890円からの毎月定額の料金で高酸素透過性のハードレンズや新素材シリコンハイドロゲル使い捨てソフトレンズ(2週間使い捨て)等メニコンの全てのコンタクトレンズから選ぶことができます。新素材シリコン使い捨てソフトレンズは乾燥を軽減し、ハードレンズ並みの高酸素透過性もあります。また、使用者のニーズや目の状態に合わせて種類変更もできます。

米倉眼科

滋賀県の守山市と草津市の南草津に医院をもち、一般眼科診療、白内障の手術、コンタクトレンズ、メガネ処方などを行っております。

守山本院 TEL 077-583-2134

JR守山駅前西口小島ビル5F 定休日: 木曜午後、日曜、祝日

南草津分院 TEL 077-569-1288

JR南草津駅徒歩3分(MNK-3ビル)3F 定休日: 水曜日、日曜、祝日